

岩国米軍基地の強化に反対する岩国住民の皆さんに  
連帯のごあいさつを申し上げます。

韓国では、8月22日から世界最大規模の乙支フリーダム・ガーディアン(UFG)韓米連合演習が行われます。この演習には、北朝鮮が核と大量殺傷兵器を使用する兆候を見せただけでも先制攻撃するという、超攻勢的「4D」(抑制→かく乱→破壊→防御)作戦概念が適用されます。このように違法な先制攻撃概念を適用した韓米連合演習が行われれば、ささいな軍事的衝突が起こる場合、それが戦争へと拡大したり、全面戦争へと飛び火する可能性が高くなったりするゆえに、ピョントンサと韓国の市民社会はたいへん憂慮しています。南北間の軍事的衝突や局地戦は、そこに留まらず北東アジアの軍事的衝突までも招くことになるのです。

最近、韓米当局が韓国に配置するというサード(THAAD)は米日ミサイル防御網の核心兵器体系です。韓米日が北朝鮮に先制攻撃し、北朝鮮が報復攻撃として弾道ミサイルを発射する場合、これを迎撃するためのものがミサイル防御(MD)です。韓国に配置されたサードレーダーによって得た情報をもって、日本とアメリカは北朝鮮の弾道ミサイルを迎撃するということです。もちろん北朝鮮だけでなく中国の弾道ミサイル情報も探知しようとするのが、アメリカがサードを韓国に配備しようとする目的です。日本の集団自衛権行使の代表的事例も、アメリカや米軍艦艇が北朝鮮から弾道ミサイル攻撃を受ける時、日本がこれを代わりに迎撃するというものでした。ゆえに南北間の軍事的緊張が高まれば、日本の自衛隊が米軍と共に朝鮮半島での軍事的衝突という状況に介入することになります。今回のUFG練習にも在日米軍や日本の自衛隊が参加する可能性があります。

すでに中国とロシアが強力に反発しているが、サードが配備されれば北東アジアの軍事的緊張と対立は今よりはるかに大きくなるでしょう。

だからピョントンサと韓国の市民社会団体は、UFG演習を中断し、朝鮮半島に平和をもたらすことができる、朝米、南北、六か国間の対話を始めよと要求しています。朝鮮半島平和協定の締結によって朝鮮半島非核化を実現すれば、北東アジア諸国の間に平和と協力関係が形成されるのです。これが、韓国と日本、ひいては全世界の平和運動が互いに手をつなぎ、平和のための連帯に立ち上がらねばならない理由です。対決と軍備競争、基地強化は民衆の生を苦痛の中に陥らせます。

粘り強く岩国基地拡張・強化に反対している岩国住民の皆さんの闘争を支持します。

日韓民衆が手をつなぎ、戦争を防止し、平和をもたらしましょう。

平和と統一を開く人々